

田中学園立命館慶祥小学校では、子どもたちがそれぞれのカタチで広い世界に挑戦し続けられる力をつける取り組みを行っています。

その教育手法として、英語・体育・音楽・図工・情報の授業を外国人教員と日本人教員のチームティーチングを中心とした英語イマージョンによる実践をしています。学習内容は日本で学ぶべき教科目標に基づいています。イマージョン授業では、これらの授業はオールイングリッシュで行いますので、わからないことがあったとしても、聞く事をあきらめるのではなく、こうかな？と想像しながら聞き続けようとしています。この聞き続けようとする姿勢が英語習得の上では大変重要ですが、本校の児童にはこの姿勢が育っています。

各学年に外国人教員が所属しているので、授業中はもちろん、休み時間や給食時間、清掃時間にも外国人教員とコミュニケーションをとることができる環境にあります。実際に、休み時間に遊んでいる風景を覗くと、友達同士で英語で会話をしながら遊んでいる様子も見られます。

本校の合言葉として、「ナイストライ」が浸透していますので、子どもたちは間違いを恐れずに積極的に挑戦します。授業中に誰かが間違えてしまったとしても、周りの子がすぐに「ナイストライ」「間違えたっていいんだよ」と伝え合うので、安心して英語を使うことができます。たくさんのトライアンドエラーを繰り返しながら、英語の力をつけていく環境にあります。

また、年に2回「World Day」という行事があります。北海道在住の国際留学生が各クラスに入り、一日子どもたちと一緒に過ごします。英語圏だけではなく様々な国・地域からの留学生と英語を使って触れ合うことができ、貴重なアウトプットの機会となっています。2月には「TGRK Voices」という英語発表会も行います。1年間学んできた英語を他の学年の児童や保護者に発表することにより、その学年の英語学習の集大成となり、次の学年へのモチベーションにもなっています。